

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
【I 理念に基づく運営】					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ぬくもりのある家で皆さんと助け合い慰めあって、安心して生活していただくホーム理念を作成している		ホーム理念を介護の柱としてサービス支援を行っている
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝申し送りの時にホーム理念と接遇心得を唱和し共有して、実践に向け取り組んでいる		管理者と職員は理念を周知し実践している
3	—	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族や運営推進会議メンバーのほか多様な機会を捉えて、ホーム理念の理解に向けて伝達している		身近なところからグループホームの役割を、わかりやすく伝えている
2. 地域との支え合い					
4	—	○隣近所とのつきあい 管理者と職員は、隣近所の人と気軽に声を掛け合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的な付き合いができるように努めている	法人内はもとより魚屋・米屋さんガソリンスタンド近隣の人とは、気軽にあいさつを交わしつきあい方に努めている	○	日常的なつきあいをしながら相互に協力していきたい
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元の運動会へ参加したり、小中学生の慰問を受けたり近隣の足湯へ出かけたり、身近な交流に努めている	○	地元活動の情報収集を行い、地域の一員として活動や交流を広げていきたい
6	—	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事務所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	継続的に支援してきて得た専門的な技術や知識は、プライバシーに配慮し家族や運営推進メンバーを通して、少しずつ情報発信している	○	事業所で培ってきた専門的な多くの事は、地域に貢献できるよう取り組んでいきたい

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価は職員間で検討を重ね出来るところから、具体的な改善に取り組んでいる		評価の意義を理解している
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進メンバーの貴重な意見は職員間で再掲してサービス向上に活かしている		2ヶ月1回開催 相互に意見交換を行っている
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所では対応が困難な時は、馴染みの担当者に見解やアドバイスを求め、継続していく支援がサービス低下しないように努めている	○	事業所をよく知る市町村担当者と連携して、サービスの質の向上に取り組んでいきたい
10	7	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	制度について必要性は理解するも、専門的に学ぶ機会が少ない	○	学習の機会を増やしていきたい
11	—	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎日の支援で利用者への言葉づかいや態度に、行き過ぎた対応がないように努めている		最も必要な学習と心得、毎日ホーム理念と接遇心得を唱和し実践に取り組んでいる
4. 理念を実践するための体制					
12	—	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明と共に事業所の出来るところ出来ないところを明確にして、利用者や家族に納得同意を得ている		利用者や家族が安心して契約したり解約できるように、十分な説明に努めている

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
13	—	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	普段から意見や苦情を伝える自由な雰囲気を作り、ホーム内に意見箱を設置している		改善事項は早急に行いサービス向上に努めている
14	8	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	暮らしぶりや状態変化時は、随時連絡報告を行ったり面会の折に話しをして、家族に安心していただいている		いろいろな機会を通して家族に報告し、緊急時は特に頻回に連絡行っている
15	9	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	普段から良好な関係を築き些細な事でも傾聴して受け止めている		年間行事計画案内を差し上げ安心して利用頂くように、事業所の情報を提供している
16	—	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月定例会を開催して、率直な意見や提案を聞く機会を設けている、重要な決定事項の参考につながる場合も少なくないので、意見あればいつでも柔軟に対応している		現場の情報収集を図り、事業所運営の質の向上につなげる取り組みをしている
17	—	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者へのサービス低下にならないように、柔軟な勤務体制や応援体制に努め調整している		サービス支援が滞らないように余裕のある勤務体制に努めている
18	10	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が継続して支援し安心されている、職員交代の場合は引継ぎ期間に余裕を持って対処している		利用者への影響を最小限にするよう努めている

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
5. 人材の育成と支援					
19	11	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	公正な判断のもとに採用された職員は、生き生きと社会参加して仕事に誇りが持てるようにサポートしている		前向きな姿勢で安心して働ける職場づくりをしている
20	12	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	サービス支援の基本は人権の尊重と考えて、職員には折に触れ繰り返しながら、人権の尊重について啓発している		継続的に職員教育を図りサービスの質の向上に努めていく
21	13	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は一律に内部、外部研修や同業者ネットワーク参加している、ここで得た知識や技術はさらに現場で活かし習得していくように勧めている		研修を積んだ職員は介護の実際に役立てているので、貴重な職員教育の場である
22	14	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	相互の訪問活動に至っていないが、同業者ネットワークに加入して時々勉強会に参加している	○	ネットワークを生かし継続的に情報収集を行い、サービス支援の向上に取り組む
23	—	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	喫煙所の確保や夜勤時の休息を確保して、心身を休める場所に配慮している	○	職員のストレスが軽減できるような、具体的な取り組みをしていきたい
24	—	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々の努力や実績は日頃から評価し、継続して働けるように環境を整え、就業規則や健康診断等必要な支援をしている		働きやすい職場の改善に取り組んでいる

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
25	—	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	必ず本人にお会いして話を傾聴し、本人自身が求めていることを理解して受け止めている		本人を理解し初期の信頼関係を築いている
26	—	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談から利用にいたる経過の中で家族の立場を理解していき、一緒に利用者を支援していく立場として受け止めている		家族を理解し初期の信頼関係を築いている
27	—	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要な支援を明確にして他機関との連携を図り対応している		必要な支援を見極めて適切に対応している
28	15	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が納得した上でサービス利用できるように、家族と相談しながらゆっくりと進めている		本人の気持ちを大切にサービス利用を開始している
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
29	16	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ホーム理念にも明記しているように喜んだり慰めあったり、一緒に支えあう関係として共に過ごしている		ホーム理念にある一緒に支え合う関係を築いている
30	—	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	一緒に本人を支えていく良好な関係を築いている		本人と一緒に支えていく事業所と家族の良好な関係を継続的に築いている

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
31	—	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族の気持が離れると不安になられるので、利用者の目に見える具体的な形で、家族との絆が維持できるように支援している		本人が家族の存在やかかわりを忘れないように、家族との接点は見守りしている
32	—	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	法事や結婚式馴染みの食堂へ外出する等、今までの関係が途切れないよう家族の協力がある		本人が希望する馴染の関係継続は、家族へ相談して協力していただいている
33	—	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支えあえるように努めている	気が合う人同士が集ったり、皆で集って過ごしたり、時にはマイペースで過ごす人等職員は力にあわせ見守っている、顔を見ないと体調を気遣う場面が見られる事も度々である		ホーム理念を念頭に入れ利用者同士が支え合えるように見守り行っている
34	—	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も必要な場合は、家族の相談に応じたり相談先を紹介している		継続的な関わりを大切にしている
【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】					
1. 一人ひとりの把握					
35	17	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の暮らし方の希望や意向を確認してケアマネジメントしているが、困難な場合は本人本位に関係者で話し合っている		その人らしく暮らす本人本位のケアマネジメントを作成して支援している
36	—	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人がこれまで大切にされてきた暮らし方が維持できるように、生活歴や環境を把握している		一人ひとりの暮らし方に合わせてサービス支援している

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
37	—	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	現状を総合的に把握するために、毎日の生活記録を詳細に記録して、本人の生活リズムを暮らしに活かしている		心身の状態把握は総合的に行い健康管理をしている
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
38	18	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人を取り巻く必要な関係者の意見やアイデアをもとに安心して自立した暮らしの介護計画を作成している		3ヶ月に1回見直し、6カ月に1回作成している
39	19	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回見直ししているが早急に対応すべき課題は臨機応変に対応している		現状に即した介護計画を作成している
40	—	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアの実際の記録や日々の様子は個別に記録し、申し送りを通してケアの実践の見直しに活かしている		記録の整備は実践に活かしている
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
41	20	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	多機能の支援はない		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
42	—	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域資源との関わりはできるところから少しずつ行っている	○	地域資源の情報収集に努める

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
43	—	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	散髪、歯科訪問診療、オムツ給付等必要に応じたサービスを活用している	○	地域資源の活用を増やしていく
44	—	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	包括支援センターとの協働についてはその都度必要に応じていきたい	○	利用者の状態変化に応じて協働していく
45	21	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人家族の希望でかかりつけ医を決定されている、週1回の回診や内服管理、通院介助等行い専門医療に関しても家族と協力して支援している		家族や医療機関と連携を図り受診支援をしている
46	—	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	信頼できる医師に相談しながら、認知症に関する診断や治療を継続的に支援している		認知症の診断治療を経過的に見ていけるよう支援する
47	—	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	健康管理は馴染みの看護職員と相談して早期の対応ができるので、利用者家族は安心されている		看護介護の連携にて早期発見治療につなげている
48	—	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者家族に十分説明し、安心して入院治療を行いスムーズに退院できるように、関係機関と連携を図っているため家族は安心されている		医療機関と相談や連携に努めている

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
49	22	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	段階的に話し合いを持ち方針は早いうちに明確して、本人家族の不安の解消に努めている	○	方針は明確にしていく
50	—	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化や終末期に向けた支援は行っていない、		
51	—	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移行先への情報提供や十分な話し合いを持ち安心できるように支援している		関係機関への働きかけを行っている
【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
52	23	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録や対応に於いてプライバシーに配慮している		利用者の尊厳と権利を守り支援している
53	—	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	一人ひとりの力に合わせた説明を行い、本人が決めるまで急かさないようにしている		本人への説明を十分に行い自己決定へと導いている
54	24	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースで過ごされているか、職員の都合を優先していないか、いつも振り返って支援している		利用者の希望に添った一日を支援している

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
55	—	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問理美容や家族支援などそれぞれである、身だしなみやおしゃれは自分で楽しめるので見守っている		自分を表現される機会を大事にしている
56	25	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	家庭の延長のように顔馴染みの人とテーブルを囲み、食事を楽しまれているが、お手伝いはその人の力に合わせて声掛けしている		楽しい食事の輪は仲間の輪と考えて支援している
57	—	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	大好きなものは食欲もわき、話しも弾んで楽しめてあるので日常的に取り入れ提供している	○	食の楽しみを伝え生き生きした暮らしを支援していきたい
58	—	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄のリズムを掴み日中はトイレに誘導している、夜間頻回な人は医師に相談して安眠できるようにしている		トイレで排泄出来るように支援している
59	26	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の思いで入浴を楽しめるように支援している		漫然とした支援ではなく利用者の希望にそって柔軟に対応している
60	—	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者の状態に合わせて日中の休息を入れたり、夜間はぐっすり眠れるように支援しているが、不眠の訴えは本人の生活リズムを医師に相談している		生活リズムを総合的に把握して安眠できるように支援している

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
61	27	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物をたたんだり掃除をしたり配膳台を拭いたり本人の思いでされているので見守っている		生活の楽しみが膨らむように年間行事計画を立て支援している
62	—	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理はお地藏さんのお賽銭くらいをされている	○	お金を持ったり使うことを忘れないように家族と協力して支援していく
63	28	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出は開放的にして家族と協力して支援している		季節を感じられるような外出支援を年間行事計画して支援している
64	—	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人の思いや希望の外出先は、家族とともに外出され満足が大きい		本人の思いや希望が実現できるように家族も協力して支援している
65	—	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や大切な人に電話をしたり手紙を出したり、自然にされているので見守っている		プライバシーの保護守秘義務に配慮している
66	—	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	一緒に過ごせるスペースや湯茶の準備をして、居心地よくゆっくり過ごして頂き本人も満足が大きい		本人にとって訪問支援は大きな力となるため、家族をはじめ本人を知る多くの人に声掛けしている

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
(4) 安心と安全を支える支援					
67	—	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	人権を守り安心と安全を支えるケアに取り組み、言葉遣いや対応で身体拘束に係るような事がないように、厳しく指導を行っている		人権を守り暮らしの安心と安全を支えるケアを実践している
68	29	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	不穩が強い場合は職員が連携を図り、鍵を掛けないケアに取り組んでいる		鍵をかけないケアの実践を継続して行っている
69	—	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮しながら見守りやすい位置で所在や様子を把握している		人権を守りプライバシーに配慮してケアの実践に取り組んでいる
70	—	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	保管や管理方法を取り決め安全を優先している		危険防止に努めている
71	—	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者の状態に応じた事故を予測して事故防止に努め、初期の対応についてマニュアルの準備がある	○	ヒアリハット報告は事故防止策に生かして取り組んでいく
72	—	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルは身近に設えて対応している、嘔吐下痢、ノロウィルスの実践講習を重ねて行っている	○	全職員が応急処置や初期対応をマスターするように、学習を定期的に行っていく

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
73	30	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	点検、訓練について年2回実施、昼夜間体制の避難訓練を行い消防署や法人の協力を得ている	○	災害対策は地域への協力体制を強化していく
74	—	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	個々に起こり得るリスクについて家族に説明し対応策を話し合っている		リスクについては予防的に対応している
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
75	—	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	報告、連絡、相談を速やかに行い医療機関と連携して早期対応している		病状の早期発見に努めている
76	—	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬と症状の変化については看護の指導で職員は理解し支援している		誤薬のないように服薬支援を行っている
77	—	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食物繊維の多い食事や適度な運動を暮らしに取り入れ便秘予防している、排便チェックを行いリズムを掴んで、内服で排便コントロールをする場合もある		毎日スムーズに排便出来る様に支援している
78	—	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後歯磨き、緑茶でうがいをして清潔保持に努めている、不十分な人は点検介助し汚れや臭いのもとが生じないように努めている		利用者が習慣的に口腔ケアに取り組み、健康管理できるように支援している

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
79	31	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養摂取や水分摂取のチェックを行い、一日のカロリーや水分を確保できるように継続して支援している		一人ひとりの状態に合わせた栄養摂取や水分確保を支援している
80	—	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを身近に設えケアの実際のために勉強会を行っている		職員は感染を最小限にとどめる努力をしている
81	—	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所や調理器具類の衛生管理に努め、食材も厳選して全て煮沸して使用している		衛生管理を徹底し利用者の健康を継続的に守っている
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
82	—	○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	門扉は広く開放感がありなだらかなスロープで玄関へ続き安心して出入りできる、花壇の花も楽しみにされている	○	玄関回りの工夫は利用者と一緒に演出していきたい
83	32	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間はお互いが不快な思いをしないように配慮して、家庭の延長としての生活観を取り入れている		利用者の家庭の延長として居心地よい共用空間を工夫している
84	—	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自分の好きな場所や気の合った人と、くつろぐスペースを用意して支援している		プライバシーに配慮して環境作りに努めている

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
85	33	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	長い生活で馴染んだ家具や小物類を身近に置き、毎日目に触れ手に触れて生活されている		本人が好む居室を心がけプライバシーに配慮している
86	—	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	一日1回空気の入替えをしている、利用者の状態に合わせて温度調節は細めに行い、過ごしやすい環境を提供している		日常的に換気や空調管理を行なっている
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
87	—	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの力にあわせ本人の自立した生活が送れるように、居室に手すりを取り付けて工夫している		自立した暮らしを目標に、身体機能の変化に応じて安全な環境を整える
88	—	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	表札や場所の表示を分かりやすくして、他室への出入り等、暮らしの混乱や失敗を予防している		本人のわかる力に合わせた環境を整えている
89	—	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	日向ぼっこが大好きなので外回りを活用して楽しめる様にしていく	○	外回りも楽しみの場を広げたい

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果	
自己	外部		(該当する箇所を○印で囲むこと)	
V サービスの成果に関する項目				
90	—	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
				②利用者の2/3くらいの
				③利用者の1/3くらいの
				④ほとんど掴んでいない
91	—	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
				②数日に1回程度ある
				③たまにある
				④ほとんどない
92	—	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
				②利用者の2/3くらいが
				③利用者の1/3くらいが
				④ほとんどいない
93	—	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
				②利用者の2/3くらいが
				③利用者の1/3くらいが
				④ほとんどいない
94	—	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
				②利用者の2/3くらいが
				③利用者の1/3くらいが
				④ほとんどいない
95	—	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
				②利用者の2/3くらいが
				③利用者の1/3くらいが
				④ほとんどいない
96	—	○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
				②利用者の2/3くらいが
				③利用者の1/3くらいが
				④ほとんど掴んでいない

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果	
自己	外部		(該当する箇所を○印で囲むこと)	
97	—	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
98	—	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
99	—	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
100	—	○職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
101	—	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
102	—	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ホーム理念を介護の基本として支援しています。明るい雰囲気職員と利用者が助けあって生活しています。
また、アピールしたい点は、開設以来、家族会はバイキング形式で利用者さんの家族、職員ともなごやかにいき、好評です。

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
【I 理念に基づく運営】					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	その人らしく暮らす事の大事さ助け合いながら笑いのある生活を行うような理念を作っている	○	毎朝申し送りの後に唱和している
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝申し送りの後に唱和し実践に向けて取り組んでいる	○	理念を上げただけでなく日々実践に取り組んでいる
3	—	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営推進会議、家族会を実施しホーム内の生活と役割について理解して頂いてる		定期的なホーム便り等の発行を行いボランティア活動を取り入れたい
2. 地域との支え合い					
4	—	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	施設行事や花見、ドライブ等で気軽に触れ合う機会やホーム内での交流の声掛けを支援している	○	日常的に交流できる暮らしを推進して馴染みの関係を作っている
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の運動会参加に出かけたり園児や小学、中学からの慰問にきて頂き地元との交流に勤めている	○	地域活動等に参加し地元の人々との交流に努めたい
6	—	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事務所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	日常支援を第一に利用者のプライバシーに配慮しつつ知識や実践経験を地域の人々に向けて活かしていきたい	○	認知症の理解や関わり及びホームの機能を理解して頂けるように地域へ発信していきたい

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を活かして前向きに具体的に出来る所から改善している	○	評価で明らかになった課題について話し合いを行っている
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	報告や情報交換を行い会議メンバーより意見を頂きサービスの向上に活かしている	○	2ヶ月毎に会議を行い改善への取り組みを行っている
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営会議に出席して頂き運営や現場の実情など積極的に情報交換を行い取り組んでいる	○	課題解決に向け質の向上を図りたい
10	7	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在利用されてる方はおられないが今後必要と考え資料を取り寄せ学習会等で勉強している	○	学習会を開き理解してもらおう
11	—	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内の勉強会などを活用し虐待の理解を深め言葉などの虐待など心理面においての配慮に努めている	○	併設施設での勉強会、接遇参加を行い再度ホーム内で勉強会、申し送り等にて意識付けをしている
4. 理念を実践するための体制					
12	—	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者や家族等の不安、疑問に対して十分な説明を行い理解した上で入居して頂いている	○	十分な説明を行い理解、納得して手続きを行っている

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
13	—	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表 せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置して、意見や苦情が職員に伝 わりやすいように心がけている	○	意見や苦情については検討を行い改善して いくように対応してる
14	8	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の 異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をして いる	面会の制限は特にせず、家族の交流を多く もつ事で暮らしぶりを見て頂いている。健 康管理については、常に報告し家族へは理 解して頂いている。職員のローテーション は原則として行っていない	○	問題や体調不良時はきめ細かく報告してい る
15	9	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表 せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を設け家族同士の集まりの場で意見 交換を行い課題を取り入れサービスの向上 を図っている	○	出された課題は職員間でも検討を行い解決 に向けて取り組みをしている
16	—	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会 を設け、反映させている	ユニットの話し合いや勉強会等で意見や提 案に耳を傾け質の向上に活かしている	○	働く意欲の向上や質の確保につなげている
17	—	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、 必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努 めている	利用者が安心して生活できるような勤務 ローテーションを組み余裕をもって対応し ている	○	安心できるような勤務体制に努めている
18	10	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられ るように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場 合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的に異動は考えてない。退職者がある ときは新人と重複するような勤務で対応し て影響がない様に配慮している	○	今後も同じようにしていきたい

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
5. 人材の育成と支援					
19	11	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	基本的人権を尊重し性別、年齢は問わず個々の多様な個性を尊重しその能力が発揮できるよう配慮している	○	研修等の参加を促す
20	12	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権教育や差別等については日常的に指導行っている	○	勉強会や研修会参加を積極的に行う
21	13	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部、外部研修は立場や経験の段階に応じて学び全職員に研修内容を報告している	○	勉強会や申し送り時に報告を行いサービスの質の向上を図っている
22	14	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域同業者との交流の機会は持っていないがグループホーム協議会加入にて職員、利用者参加の研修会により活動の向上を図りたい	○	地域同業者との交流を図りたい
23	—	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	心身を休められる休憩室があり職員同士が会話したりストレスが軽減し持続しないように配慮している	○	短時間でも心身を休められる心地よい場所を確保している
24	—	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	本人の考えを十分に引き出し現場で起きている状況、変化を把握して各自が向上心を持って働けるよう支援したい	○	健康管理を行い継続して働けるよう支援したい

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
25	—	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接を行い本人の思い不安を受け止め利用者が安心して納得できるように努めている	○	馴染みの関係を心かけている
26	—	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族が求めている事困っている事ニーズが何なのか家族の思いを受け止め支援する	○	話を聞き安心されるような対応をしている
27	—	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人家族のニーズや要望をもとに出来る限り必要に応じた対応をしている	○	必要としている支援を見極め対応に努めている
28	15	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者がサービスの場に徐々に馴染み、安心してサービスを利用できるように支援の工夫を家族と相談し共に行っている	○	雰囲気に馴染めるように利用の場を工夫している
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
29	16	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	長年やってこられた掃除、洗濯物たたみや料理などその時々を一緒に過ごし支えあう関係を保っている	○	継続したい
30	—	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者の暮らしぶりや日常の様子を定期的具体的に伝えたり在宅での暮らしぶりを聞いたりしている	○	生活を共に支援していく

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
31	—	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者と家族との関係の理解に努め双方の絆を大切にしより良い関係が築けていけるように支援したい	○	家族と疎遠にならないように支援している
32	—	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出したり知人の訪問や電話、手紙での連絡を取り持つ等の繋がりを断ち切らないよう支援している	○	馴染みの関係や場所への積極的な支援
33	—	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支えあえるように努めている	会話をしながらのお茶の時間、作品作り等、利用者同士が関わり合い支えあえるように努めている	○	利用者同士の関係や個性を活かす配慮している
34	—	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了しても必要ならば相談や支援を行う	○	関係を断ち切らない関わりを大切にしたい
【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】					
1. 一人ひとりの把握					
35	17	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	歌や掃除、料理が得意な人自分の思いや希望、意向等本人の視点に立って話し合い取り組んでいる	○	生活に役割をもたせ支援している
36	—	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の生活環境を継続し本人、家族の馴染みの関係を積み重ねていくように努めている	○	安らぎと自分らしく暮らしていけるように支援したい

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
37	—	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	出来る事は自分で行ってもらい一日の暮らしの中で生活のリズムや心身状態の把握をするように努めている	○	情報や先入観にとらわれず本人の出来る事、分かる力を発見していきたい
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
38	18	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人家族の意向を取り入れ課題分析し目標を立てて本人本意の介護計画を作成している	○	3ヶ月毎に見直し、出来る限り自立に向けた支援を心がけている
39	19	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画に実施期間を明示してその期間が終了する際に見直しを行っているが状態変化に応じた随時見直しを行っている	○	3ヶ月毎の見直しや現状に即した見直しは必ず実施している
40	—	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	看介護記録等は個別に明確に記載している	○	日々の記録を元に介護計画を作成している
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
41	20	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	多機能性を生かした支援はしていないが家族や本人より外出等の要望にて近くの足湯に出かけたり同じ施設内のボランティア、慰問参加、クラブ参加で交流の機会を持っている	○	月1, 2回のドライブ、外出を図りたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
42	—	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	区長さん、民生委員さんと接する機会を持ち地域資源を大切にしたい	○	ボランティアや地域の人たちと協力して支援していきたい

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
43	—	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	オムツ給付、歯科訪問診療、訪問理容の利用支援	○	利用者の選択肢を増やし希望をかなえたい
44	—	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護、生活保護法など不明な点があれば、その都度問い合わせしている又事故報告書提出もしている	○	本人の意向、必要性に応じて協働していきたい
45	21	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族の受診希望されている医療機関を利用されている	○	適切な医療介助の支援をしている
46	—	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	適切な助言や理解を得て必要時の受診の支援をしている	○	継続していきたい
47	—	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日々勤務体制の中看護職員を確保し、状況に応じて一人一人の健康管理や医療活用の支援をしている	○	利用者の健康管理を支援している
48	—	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院期間の事などは安心できるように医療機関や家族と連携を取っている	○	環境の変化による本人や家族の不安を最小限にする

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
49	22	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在までホームにて看取りをした事はない、今後は終末期の対応も必要になるかと思われる	○	対応できるように勉強会等で把握していきたい
50	—	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医療機関への受診は、常時行える体制を取り連絡は密に取れている	○	家族や医療機関等と連携を取り、安心と安全を確保しチームで支援していきたい
51	—	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人が不安にならないように、関係者との情報交換を十分に行い、適切に対応している	○	精神的フォローに心がけ、関係機関との連携を図る
【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
52	23	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	守秘義務を守り、一人一人のプライバシーを尊重し保護していく事で、利用者と家族との信頼関係が保たれている	○	自らを上手く表現出来ない、利用者に対しプライバシーを確保し、傷付けないよう対応していきたい
53	—	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人に出来る事は行ってもらうよう声かけし、傍で見守り行い、持てる力を発揮して頂いている	○	残存機能を活かし利用者のペースに合わせた生活を送ってもらう
54	24	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	家族との外出、外食、自室での会話、時間を気にされないよう、見守り本人の希望を聞いて支援している	○	本人のペースを大切に、希望に添って支援している

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
55	—	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	昔からの店にいかれたり、訪問理容を利用される方もおられる。又行事や外出時には、お化粧をしたり、服装も普段よりはお洒落をされるよう声かけ、見守りをしている	○	本人のこだわりや意思を大切にしている
56	25	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や盛り付け等の準備、片付けを一緒に行ったりしている。又個々に合わせた食事を提供している	○	利用者との協働やテーブルを共にし同じ物を食べている
57	—	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	個々の好みを把握して献立や調理に活かしている	○	状況にあわせ、手作りおやつ等を作り楽しんで貰っている
58	—	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の声かけ、訴え時の誘導を行い、個々の状態に合わせて、下着を使い分けオムツの使用を減らしている	○	排泄パターンを知り、自立に向かい支援したい
59	26	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人のペースや気分にあわせ、くつろいで入浴されている。	○	出来る所は自分で洗身して楽しく入浴して頂けるよう支援したい
60	—	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日夜逆転をなくし、活動に支障がない様にして、安心して気持ちよく休息したり眠れるように支援している	○	生活のリズムが乱れないよう支援している

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
61	27	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	花の水撒き、手入れ、食事の準備等の手伝い編物をしたりテレビを見たりして役割、楽しみを支援している	○	本人の得意な事を見出して楽しく生活されている
62	—	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理ができる人は少ない	○	自己管理は無理でも少額は使えるように配慮したい
63	28	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ドライブや散歩など積極的に出かける支援を行っている	○	季節毎にお弁当等持って出かけたたい
64	—	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族との外出も見られるがドライブや花見、初詣等積極的に実施している	○	家族と過ごすことの喜びが伝ってくる為支援したい
65	—	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族、知人からの電話、手紙のやり取りは自由に行われるよう支援している	○	プライバシーに配慮している
66	—	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	居室への宿泊も自由に出来ることは説明している。友人、知人の訪問も多いが、家族の訪問は比較的多い	○	住み慣れた部屋作りを支援中です

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
(4) 安心と安全を支える支援					
67	—	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行わないと職員は認識しており、拘束のないケアを実践、指導している	○	言葉、身体の拘束はしないケアの実践に取り組んでいる
68	29	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、鍵を掛ける事はない。離設行為がある時は、見守り、職員同士の声かけを行い、鍵を掛けない工夫に取り組んでいる	○	利用者の安全を確保しながら連携を図りながら支援している
69	—	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は声かけ、見守りの連携を密に行い、利用者の把握を行っている	○	夜間でも利用者を見守りやすいホール等で過ごしたり、プライバシーを配慮した時間毎の見守りを行っている
70	—	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤、刃物、薬等の管理方法を取り決めている	○	チェックを行い管理方法を取り決め危険防止に努めている
71	—	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急時、マニュアルを作成し学習会、ユニット話し合い等で事故防止について、具体的に検討している	○	報告、記録はきちんと整理し事故防止策を検討していきたい
72	—	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルに添って対応するように日常的に指導行っている。最近ではノロウィルスに対し実習、実践を行った	○	訓練を重ね発生時には落ち着いて適切な対応出来るように努めたい

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
73	30	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昼、夜間想定防火訓練を年2回実施し、消火器や避難誘導場所を確認している	○	併施設等との話し合いを行う事で、協体制度は出来ているが、地域住民の協力を得るように取り組みたい
74	—	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ホーム内での生活ぶり、状態を面会時や電話等で知らせている	○	安心して生活出来るように気配りする
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
75	—	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	朝と入浴前にはバイタルチェックを実施し、利用者の顔色、食欲、排便有無等で状態異常の早期に努めている	○	定期的に受診して健康チェックを行っている
76	—	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用している薬の内容、副作用は把握できており、一人一人の服薬管理は出来ている	○	誤薬がない様に名前を表示し一人一人服薬確認を行っている
77	—	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食材を工夫し水分を必ず取ってもらう。予防対策として身体を動かすように歩行訓練等の運動を取り入れた日課を働きかけている	○	バランスの取れた食事と運動で排便コントロール
78	—	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口臭や舌苔が生じない様チェックを行い毎食後の口腔ケア、入れ歯のチェックを行い介助必要な人は支援している	○	訪問歯科を利用され、口腔内の清潔や治療を行っている又ケア後のうがいは緑茶にて殺菌している

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
79	31	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士によるカロリー計算を元に季節の野菜などの食材、バランスの取れた献立を提供している。毎食の摂取量、水分量は把握している	○	栄養バランスのチェックは行っている
80	—	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染マニュアルを作成し、職員が見やすい場所に保管し勉強会などで再認識できるようにしている	○	早期発見や予防が大事、利用者、職員とも手洗い、消毒の徹底を実行している
81	—	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日新鮮で安全な食材を配達してもらい、温野菜で使用している。食器、調理器具等も衛生管理を取り決めている。	○	調理用具、食材の在庫の安全、清潔を保つよう努めている
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
82	—	○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	正面に表札を立て回りに木々や季節の花を植えたり、玄関は手すりを設置したり、柔らかな色合いの屋根等で工夫している	○	明るい玄関周りに工夫している
83	32	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は畳や障子で家庭的な雰囲気になっている。窓も大きく光がたくさん入る明るい廊下も広く利用者も歩きやすい、又共同空間のホールは居心地の良い家具の配置を考え明るく暖かいスペースとなっている	○	テーブル、椅子にこだわりを持ち過ごしやすい物にしている
84	—	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	明るい小ホールに椅子、テーブルを設置しゆっくりと会話をしながら過ごすペースを確保している	○	植木鉢を置いたりして安らぎのある環境にと工夫している

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
85	33	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具、身の回りの品物を設置し家人が泊まれるような居心地のいい居室にしている	○	プライバシーを大切に安心して過ごす為の環境作りを支援している
86	—	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日、時間を決めて空気の入れ替えは行っている。又居室は週1回オゾン消毒行っている	○	ホーム内はエアコンにて、空調調整を行い適切な設定にて、利用者に支障ないように配慮している
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
87	—	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室、トイレ、廊下等はバリアフリーにて車椅子でもスムーズに駆動できる。廊下には手すりを設置してあり利用者は安全に動きやすい生活空間を取り入れている	○	機能に応じ居室に手すりを設置したりして、自立した生活が送れるように工夫している
88	—	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレ、居室には表札を付けているが行動に不安や失敗が見られたら環境や物品の検討に努める	○	混乱、失敗のない環境作りに努めたい
89	—	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先や中庭で水遣り、日向ぼっこをして過ごせる場として活かしている	○	中庭に六角の椅子を設置しレクリエーションを行ったりお茶を飲んだりして楽しんでいる

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果	
自己	外部		(該当する箇所を○印で囲むこと)	
V サービスの成果に関する項目				
90	—	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
				②利用者の2/3くらいの
				③利用者の1/3くらいの
				④ほとんど掴んでいない
91	—	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
				②数日に1回程度ある
				③たまにある
				④ほとんどない
92	—	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
				②利用者の2/3くらいが
				③利用者の1/3くらいが
				④ほとんどいない
93	—	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
				②利用者の2/3くらいが
				③利用者の1/3くらいが
				④ほとんどいない
94	—	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
				②利用者の2/3くらいが
				③利用者の1/3くらいが
				④ほとんどいない
95	—	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
				②利用者の2/3くらいが
				③利用者の1/3くらいが
				④ほとんどいない
96	—	○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
				②利用者の2/3くらいが
				③利用者の1/3くらいが
				④ほとんど掴んでいない

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果			
自己	外部		(該当する箇所を○印で囲むこと)			
97	—	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と		
				②家族の2/3くらいと		
				③家族の1/3くらいと		
				④ほとんどできていない		
98	—	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように		
				②数日に1回程度		
				③たまに		
				④ほとんどない		
99	—	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている		
				②少しずつ増えている		
				③あまり増えていない		
				④全くいない		
100	—	○職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が		
				②職員の2/3くらいが		
				③職員の1/3くらいが		
				④ほとんどいない		
101	—	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が		
				②利用者の2/3くらいが		
				③利用者の1/3くらいが		
				④ほとんどいない		
102	—	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が		
				②家族等の2/3くらいが		
				③家族等の1/3くらいが		
				④ほとんどできていない		

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家族会を年3回行い、一緒にバイキング式の食事を摂り、コミュニケーションを図るように、多くの参加の声かけを行っています。
広々としたホール、廊下、玄関周り、明るい陽ざし、静かな環境の中にホームは造られています。
来設された方は、広い窓、明るい空間にびっくりされています。